

7階ユニット

看護師長 橋本 理恵

1 部門目標

地域周産期母子医療センターとして、市民の皆様に信頼される専門性の高い安心安全な看護を提供する

2 業務体制・スタッフ

病棟：一般病床（7：1看護体制）41床 MFICU（3：1看護体制）3床

外来：産科 婦人科 助産師外来

助産師 23名 看護師 9名 看護補助員 2名 看護クランク 1名

3 業務実績

1日平均患者数 23.9日 病床稼働率 54.2% 平均在院日数 9.5日

分娩数 592件

（正常分娩 257件 異常分娩 335件）（経膈分娩 363件、帝王切開 229件）

母体搬送 121件 NICU入院児 271名 婦人科手術数 58件

未受診妊婦 7件（前年度 16件）

4 1年間の総括

平成30年度は、「協働」をキーワードに安全な看護と個別的な看護を提供できるよう実践を行った。シミュレーション教育を定期的に行い、高い専門性を目指す意識の定着が出来た。また、ユニット独自の災害訓練では積極的に学ぼうという姿勢が見られ、安全な看護の提供への意識が高まっている。そして、昨年度より多職種と協働することが定着しているが、協働した内容を全て残せていないため、看護としての評価ができていない。全ての入院患者の看護を地域につなげられるよう、地域と連携できるシステム構築をすることが必要であることが理解でき、次年度へ向けての問題を考えられるようになった。

5 今後の目標

地域周産期母子医療センターとして、母子の安全を守り、安心できる看護の提供を行っていくことは変わらず重要目標である。助産師・看護師はもちろん、医師や多職種と連携し、お互いがお互いを大切にできる環境作りを目指していく。そのために、ユニットの存在意義を示し、その存在意義に沿った活動をしていくことが目標である。